学校番号	1203

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」教育芸術社						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。（知識） ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。（技能）	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	曲想を感じ取って曲にふさわしい発声で歌お	【歌唱】 「ヴォイストレーニング」 糸 Funiculi-Funicula	a:(知)曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした歌詞表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図を持っている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取 ワークシート	観察 発表 振り返りレポート

	リズムにのってアンサンブルをしよう	【器楽】 ソルフェージュ （リズム） シンコペーテッド クロック	a:(知)曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート
	変奏や編曲に挑戦しよう	「旋律の雰囲気を変化させよう」 「演奏スタイルを変化させよう」	a:(知)音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 a:(技)創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身につけ、創作で表している。 b:音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りレポート

２学期	映画音楽を観賞しよう	「映画を彩る音楽」 「映画音楽を聴こう　映画『ハリー・ポッターと賢者の石』」	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	発表	観察 振り返りレポート
	和楽器に親しみ、表現を工夫して演奏しよう	箏：《一段》	a:(知)曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につけ、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りレポート

	表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	上を向いて歩こう 赤とんぼ	a:(知)曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 a:(技)創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アンサンブルなどの表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身につけ、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、合唱やヴォイス・アンサンブルなどの表現形態の特徴や各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りレポート
	構成を工夫した作品やEDM（エレクトロニック・ダンス・ミュージック）を	「構成を工夫して作品をつくろう」 「EDM（エレクトロニック・ダンス・ミュージック）をつくろう」	a:(知)音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 a:(技)創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身につけ、創作で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c:音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りレポート

3学期	表現を工夫してギターを演奏しよう	天体観測 愛のロマンス Tears In Heaven	a:（知）曲想とギターの音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 （技）創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取 観察	発表 演奏の聴取	観察 ワークシート 振り返りレポート
	作曲家の生涯と作品をたどろう	「クローズ・アップ・マエストロ」 L.v. ベートーヴェン	a:(知)曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	発表	観察 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度